

兵庫県保険医協会 但馬支部ニュース

No.125

2011年10月5日発行

発行 兵庫県保険医協会但馬支部
連絡先 〒668-0373 豊岡市但東町久畑126
高橋診療所 TEL/0796-55-0036 FAX/0796-55-0008

会員懇談会

やる気を引き出す雇用管理 ～トラブル回避のポイント～



採用・待遇など雇用に関わる様々な問題について意見交換された

但馬支部は9月10日、養父市のレストラン「ラ・リビエール」で会員懇談会を開催。社会保険労務士の桂好志郎氏が『やる気を引き出す雇用管理とトラブル回避のポイント』と題して講演、会員ら8人が参加した。

講演で桂氏は、『医院経営と雇用管理2010年版』（保団連発行）を用いて、従業員の採用・待遇などさまざまな問題について分かり易く解説した。当日参加された野田昌男先生（日高町）の感想文を紹介する。

（2面につづく）

（1面からつづく）

感 想 文

実務的な内容までわかりやすく解説

9月10日（土）『やる気を引き出す雇用管理とトラブル回避のポイント』と題して、社会保険労務士の桂好志郎さんによる講演会がレストラン、ラ・リビエールで行われました。この課題は事業主としては避けて通れないものであり、私も開業して5年目を迎えますが、日々葛藤を繰り返してきたように思います。労働契約の成立はいつか、毎年昇給しなければならないか、退職金の相場はどれくらいか、あるいは昼休み時間の取り扱い方や、産前産後の対応の仕方など、雇用に関する様々な具体的な事例に関して、適確なアドバイスをいただきました。

われわれ医師は、医学に関しては、大学・研修時代にほとんどすべての分野の勉強を課せられますが、雇用管理に関しては開業してはじめて勉強するという方が多いのではないのでしょうか。医療機関は営利を目的とするものではないという特殊な環境のなか、従業員のやる気を引き出す秘訣は、1に働きがい、2に人間関係、3に労働条件であるという非常に大切なことも教えていただきました。開業して10年、20年、30年といわれる先輩方も参加されましたが、皆さん熱心に質疑応答をされていました。

但馬地方では研究会や懇談会をするというどうしても限られた場所しかなく、肩苦しい雰囲気になってしまいがちなのですが、今回はフランスレストランの個室での開催ということもあり大変有意義な懇談会だったと思います。お誘いいただき本当に有難うございました。

【日高町・野田消化器科クリニック 野田 昌男】

『医院経営と雇用管理（2010年版）』

（2010年10月発行 B5サイズ156ページ）

価格 1,000円（送料込）

＜主な内容＞

- ※パート職員の雇用管理
- ※求人と採用・試用期間
- ※労働時間・休憩時間
- ※賃金
- ※育児・介護休業制度
- ※退職・解雇～労働契約の終了～
- ※就業規則の意義と記載事項

採用・待遇など、医院経営に不可欠な雇用管理に重点を置いて改訂された一冊。



保険請求事務講習会（但馬会場）

保険請求の仕組みを学ぶ ～スタッフら10人が参加～

協会は、9月24日～25日の2日間にかけてじばさん但馬で「保険請求事務講習会」を開催し、スタッフなど10人が参加した。

講習会では、1日目の「保険診療とは」「窓口業務」「各項目の点数」などの講義と、2日目は症例をもとにしてカルテの3号様式やレセプト（手書き）の作成を行っている。

講師を務める下山均副支部長からの日常診療に基づいた解説には「基礎的なことがよくわかった」「勘違いしていたことや知らなかったことが理解できた」など、また実際のレセプト作成の実習に関しては「レセコンに頼っていたが、改めてレセプトの内容が確認・再認識できた」「実際にレセプトを作成してみて、レセチェックする時に注意すべき所がよくわかった」等の感想が多数寄せられている。

但馬地域での講習会は初心者を対象に2年に1回開催しており、両日受講者には修了証を交付している。



熱心に聞き入る参加者

幹事会だより

8月27日（土）日高町センターで第134回幹事会を開いた（4人出席）。以下、主に議論された内容を報告する

- 秋の組織強化月間では、勤務医対策をさらに強化する。新田支部長らより各病院長宛の紹介状を得て、10月に但馬地域前病院を訪問予定。医局での説明会等、勤務医の先生方へ直接入会を呼びかける企画の具体化に向け取り組む。
- 今後の支部企画として、11月17日に公立日高医療センターで「他科を知る会」、12月には「中古医療機器購入のポイント」をテーマに懇談会を予定している。

※幹事会は、会員の先生あればどなたでもご参加いただけます。お問合せは、担当事務局 足立（TEL：078-393-1805）まで。

兵庫県保険医協会但馬支部役員 敬称略 50音順

支部長	新田 誠 (豊岡市)	藤井 高雄 (豊岡市)
副支部長	森 和夫 (養父市)	古澤 倫代 (美方郡)
	下山 均 (美方郡)	馬庭 幸二 (朝来市)
	谷垣 正人 (豊岡市)	吉田 仁志 (豊岡市)
幹事	金子 元彦 (豊岡市)	
	坂本 健一 (朝来市)	顧問 谷 尚 (養父市)
	長谷川正宜 (豊岡市)	藤澤 通明 (美方郡)

二〇一〇年度活動報告

一、第二十四回支部総会は、記念企画として市民公開講座「思い出かたりは元気のもと」日常ケアに役立つ回想法を楽しく学ぶ」をテーマに、出雲市民病院（島根県）鈴木正典先生を講師に開催、医師・歯科医師・看護師・介護士・市民ら五十人が参加した。また、新たに坂本健一先生が幹事に選出された。

二、「保険でより良い歯科医療」、「自主共済の適用除外」の意見書採択を求める請願を六月朝来市議会に提出、「保険でより良い歯科医療」が全会派一致で採択された。

三、第十三回医院運営なんでも懇談会を開催（十一月十二日）。「医療のIT活用と工夫」をテーマに田原徹先生（養父市）、下山均副支部長が話題提供。自院での電子カルテなどの活用事例が紹介された。

四、一〜二月にかけて県社保協主催で但馬地域三市二町を対象に自治体キヤラパンを行った。困保問題、介護保険問題や医師不足問題など意見交換した。

五、保険医協会事務局の实地研修として、但馬支部が研修先として受け入れた（二月十九日〜二十日、協会事務局五人が参加）。豊岡市立高橋診療所、豊岡市国民健康保険資母診療所、グループホームこころ、ケアハウスたいようを見学した。

六、在宅医療点数研究会を下山均副支

部長を講師に開催（三月二十六日）、二十六人が参加した。

七、職員接遇研修会を水原道子先生（大手前短期大学准教授）を講師に開催（四月二十三日）、二十七人が参加した。

八、症例検討会「専門医に聞く」開業医でここまで診てほしい（整形外科領域）を公立日高医療センターで開催（五月二十六日）。同病院顧問の芦田一彌先生をアドバイザーに十一人が参加した。支部では、病診連携の一環として位置づけ今後シリーズ企画で取り組む。

八、審査強化問題で「支払基金における審査の現状と問題点」をテーマに、全基労中央執行委員・南鉄雄氏を講師に支部研究会を開催（五月十四日）、三十七人が参加した。

九、「二〇一〇年病院医師名簿」を発行し、但馬地域に隣接する病院を含む全二十三病院を掲載、会員から要望のあった高齢者施設一覧も掲載した。但馬地域の病院・医院からは、「病診連携に役に立つ」と好評を得ている。

十、六月十二日に研修会「医療の現場で、Mobile 機器を使いこなす方法」を習得する」を豊岡市立高橋診療所で新田支部長をアドバイザーに開催。五人が参加した。

十一、支部ニュースを七回発行し、活動の報道を行った。

十二、支部幹事会は六回開催、研究会等の企画立案を行なった。

二〇一一年度活動方針

一、病診連携を深める取り組みとして「症例検討会」をシリーズ企画で開催する。

二、「地域医療を考える懇談会」など、医療・保健・福祉の連携を強める機会を設ける。

三、審査指導対策、労務問題、パソコンなど医院の運営に役立つテーマを取り上げ、「医院運営なんでも懇談会」を開催する。

四、診療現場を会場に、開業医が互いに経験を気軽に交流できる場として「日常診療勉強会」を開催する。

五、「病院医師名簿」をさらに充実させ、但馬地域近隣の病院や地域の診療所一覧を引き続き掲載し、病診連携に役立てる。また、但馬地域の高齢者施設などの名簿も掲載する。

六、幹事による会員訪問を行ない、支部ニュース「但馬の息吹」欄で紹介していく。

七、開業情報をすばやく入手して新規開業医の100%入会を目指す。また、病院訪問とともに開業医と勤務医が一堂に集える企画を開催し、勤務医に入会を訴える。

八、市民公開企画を開催し、地域住民や市民団体との連携を強める。

九、支部ニュースの定期発行を目指す。親しみやすい紙面づくりを工夫する。

十、魅力ある幹事会運営に務め、若手会員の支部行事への参加を促進させる。

十一、保険医協会事務局の实地研修として、但馬支部が研修先として受け入れられる。

十二、家族や従業員が気軽に参加できるような場をつくり、互いの交流を促進させる。

十三、文化的な企画を積極的に取り入れ、環境・人にやさしい支部活動をめざす。